

彦根西・彦根翔陽高校再編・耐震改修工事に係る  
設計監理調査費の減額について

工事の入札不調により、工事着手が年度末になることから、債務負担行為による工事費の年度区分を変更することに伴い、平成 26 年度分の設計監理調査費を減額します。  
(単位:円)

		総 額	平成 26 年度	平成 27 年度 (債務負担行為)	平成 28 年度 (債務負担行為)
変更前	工事費	2,134,000,000	96,944,000	2,037,056,000	
	設監費	21,340,000	969,000	20,371,000	
変更後	工事費	2,134,000,000	3,201,000	1,707,200,000	423,599,000
	設監費	21,340,000	32,000	17,072,000	4,236,000
変更額	工事費	0	△93,743,000	△329,856,000	423,599,000
	設監費	0	△937,000	△3,299,000	4,236,000

【工事の入札不調について】

県の入札参加有資格者名簿において、建築一式工事の格付区分第一号に登録されている者 2 者で構成された特定建設工事共同企業体による入札を総合評価方式で行ったが、予定価格超過のため不調に終わった。

1. 建築工事の応札額が予定価格を超過した原因

- ・大規模な工事であり、各工種とも多くの技能労働者を一時期に集中的に投入する必要があることから、最近の技能労働者の不足の状況下では、県が採用した単価と実勢の単価が乖離していたと考えられること。
- ・本工事において採用している特殊な工法の工種について、これまで県が採用していた見積価格に対する査定率が実態と乖離していたこと。

2. 入札結果を踏まえた対応

本工事の入札を再度行うにあたり、主に以下の点について見直しを行いました。

- ・専門工事業者から見積りを徴取した単価については、当該業者に対して、元請との契約時期、実際の工事施工時期、現場の状況等の施工条件を改めて詳しく説明した上で、市場の取引状況をよく確認し、その状況に応じた適切な価格となるよう、見積りの取り直しおよび査定率の見直しを行った。
- ・県単価や刊行物による単価についても、可能な範囲で専門工事業者の見積りを徴取し、実勢に応じた単価を採用した。